

No.23

# 社教連会報

発行 社団法人 全国社会教育委員連合

〒100 東京都千代田区霞が関3-2-3  
国立教育会館内 Tel 03-580-0608

## 生涯学習と社会教育

文部省大臣官房審議官

福田昭昌

一 臨教審答申は社会教育関係者の間では評判が悪い。即ち、答申は生涯学習体系への移行を打ち出しながら社会教育の役割を全く理解せず無視している。文部省社会教育局の生涯学習局への改組や社会教育に関連する法令を含む社会教育行政の総合的見直しの提言は、社会教育という用語を生涯学習に変えようとしているのか、社会教育に関する国や地方公共団体の果すべき役割を軽視し民間活力のみに委ねようとしている。従って社会教育振興の基盤である各種の社会教育施設の整備の必要性の認識がない、などの批判や疑問である。そのような批判や疑問が出る

ことには無理からぬ点もあるが、総じていえば答申は、生涯学習の視点に立ったとき、これまでの社会教育や行政においてともすれば視野が欠落しがちであった点や展開が不十分であった点に焦点を当て、これからの時代における社会教育や行政の在り方として重視すべきことや新たな展開が求められるべきことを強調したものと、私は受けとめている。答申で教育基本法七条(社会教育)が否定されたわけでもなく、社会教育や行政の役割の重要性はいささかも変わるものではなからう。

二 社会教育行政との関連で答申が重

視した主な点は以下の諸点であると思われる。①学習情報の提供・相談体制の整備②施設間のネットワーク化・施設のインテリゼント化③学習内容・形態の多様化、高度化(家庭の教育力の回復、自然体験学習など)④青少年教育、社会参加の拡大や地域連帯の育成、職業能力、婦人や高齢者の学習機会、新しいメディアの活用④指導者の確保と資質の向上⑤学校の機能や施設の解放⑥民間の教育・文化・スポーツ事業との連携、支援⑦他行政部局事業との連携、調整⑧人々の学習意欲を高めるための奨励措置、などである。

三 生涯学習と社会教育との関係はとも角として、これらと社会教育との関係については、臨教審答申では生涯学習体系への移行を教育改革の視点の一つとして掲げ、これを指して、タテ型の学習システムの長所を生かしつつ、家庭教育、学校教育、社会教育など各分野の広範な教育・学習の体制や機会を総合的に整備する、という考え方を述べている。昭和四十六年の社教審答申、五十六年の中教審答申では、生涯教育について、生涯の各時期の諸課題に対処するだけでなく、「家庭教育、学校教育、社会教育の三者を有機的に統合すること」、「生涯学習のため、社

会の様々な教育機能を相互の関連性を考慮しつつ総合的に整備、充実しようとするもの」と、それぞれ述べている。その際、五十六年答申は、生涯教育は、国民の生涯にわたる学習を助けるために教育制度全体がその上に打ち立てられるべき基本的な理念であるとしている。従って、民間教育産業や他行政部局等の事業との関連で社会教育行政の役割をどのように考えるかは別として、社会において行われる教育とされる社会教育が家庭、学校と並んで生涯学習のための重要な教育機能の一つであるとの考え方は三答申とも同様である。

四 生涯学習という観点に立つたとき、学校教育だけでは多様な要請に応えることはできず、学校教育の基礎の上に、各人の自発性に基づき自己に適した方法で学習が行える体制を整備することが求められている。その意味で柔軟性に富んだ社会教育の役割は一層重要となる。その際特に重要な視点は、豊かな社会の時代におけるプラス面マイナスマ面に対応した展開の在り方であろう。これからの社会教育は、スポーツ・レクリエーション・文化活動、職業教育などはもとより、ボランティア、趣味・娯楽までも含む、あらゆる機会と場所で行われる学習を助けるものとし広く把え、その上に立って民間の教育事業等も視野に入れた社会教育行政の役割を考えていく必要がある。

# 第30回全国社会教育研究大会をめざして

現在神奈川県においては、昭和63年度開催の第30回全国社会教育研究大会の準備を大変意欲的に進めているところです。

昭和34年に第1回全国大会を開催して本年度は第30回目になり、また、臨社会教育局が本年の7月より生涯学習局と改組される年でもあつて、この大会を大きな節目として、さらに充実発展を期して神奈川県は懸命な努力を続けております。

去る1月28日に昭和63年度全国・地区社会教育研究大会開催県担当者会議が東京霞が関の国立教育会館において開催されました。北は北海道より南は沖縄県までの全国ならびに各地区の開催県の担当者により、それぞれの地区における開催要項案が発表され連絡と協議を実施しました。その細部の点については未定でしたが輪郭は発表されました。

次に発表されました開催要項案を述べて、大会へ参加されますときのご参考に供します。

今回開催されます神奈川県社会教育委員連絡協議会の間宮会長さんが、昨年の全国大会の滋賀大会閉会式の席上で次のような御挨拶をされました。

「すばらしい3日間にわたる大会も、今まさに終わりを告げようとしております。滋賀大会は琵琶湖を一望に望むことができた会場でございましたが、神奈川県の方は、文明開化の日本の窓口として歴史を持つ横浜港を一望の窓口に見下ろす会場を用意してございませう。

横浜は、いまなお幕末から明治にかけての名残りを少しは留めておる所もございまして、中華街とか伊勢佐木町と外人墓地とか、そういった所がまだございます。また国立公園の箱根や歴史の都鎌倉などを控えております。来年は丁度第30回目にあたりますので、それを記念した意義ある大会にすべく、一同準備を進めております。全国の皆様方、一人でも多くの方々が御参加下さることをお待ち申し上げます。」

次に、その開催要項案を要約します。

### ◆趣旨

全国の社会教育委員をはじめ、社会教育関係職員及び社会教育関係団体の会員等が一堂に会し、各地域における社会教育活動の状況や研究の成果を交流しあい、生涯学習の観点にたつて社

会教育の今日的な課題解決をめざして研究協議を行う。

### ◆研究主題

「人生80年時代の生涯学習を考える」

### ◆期日・会場

昭和63年10月26日(水)・27日(木)・28日(金)の3日間  
神奈川県立県民ホール他9会場

### ◆主催

社団法人全国社会教育委員連合  
神奈川県社会教育委員連絡協議会  
神奈川県教育委員会  
横浜市教育委員会  
川崎市教育委員会

### ◆後援

文部省 神奈川県 横浜市 川崎市

### ◆日程

〔第一日〕開会行事 13時～14時

- ・主催者挨拶・表彰式典
- ・祝辞 文部大臣、神奈川県知事
- ・歓迎のことば 横浜市長

基調講演 「人生80年時代の生涯学習を考える」(仮称)

アトラクション 神奈川県フィルハー

モニー管弦楽団  
〔第二日〕分科会別協議 9時～16時  
〔第三日〕シンポジウム「生涯学習と地域づくり」  
大会宣言決議・閉会行事

### ◆分科会名称と主題

一、生涯学習構想—わがまちの生涯学習ビジョンをつくる。二、学習の多様化への対応—多様化・高度化する学習ニーズにどう応えるか。三、社会の変化への対応—国際化・情報化・高齢化・技術革新など社会の変化に適應できる学習を考える。四、生涯学習の拠点—生涯学習の拠点をどう整えるか。五、リカレント教育—働く人の学習ニーズにどう応えるか。六、人権の尊重と同和教育—差別のない明るい社会の実現をめざして。七、福祉教育—共に生きる社会づくりのために。八、女性の自立と学習—女性の自立と社会参加のための学習をどうすすめるか。九、家庭教育—これからの時代における家庭教育力を考える。十、青少年のふれあい教育—青少年の成長・自立にとつて必要な体験を考える。  
以上10の分科会名と主題をあげましたが、それぞれの分科会に二本の討議題が発表されました。紙面の都合で省略いたしますが、従来の分科会の構成からみまますとかなり表現、内容に違いがみられると思います。

# 地区研究大会に参加しよう

昭和63年度全国大会は、前述の通り神奈川県において着々と準備が進められています。一方地区（ブロック）別の研究大会も、それぞれの開催県におきまして鋭意開催にむけて準備が続けられています。

各地区大会の参加者も年々参加者が増加の傾向にあります。これは開催県のきめ細かな配慮もさることながら、参加者の生涯学習へ向けての意欲のあらわれとも考えられます。

社会教育委員は一人でも多く積極的にそれぞれの地区研究大会に参加いたしましょう。

63年度開催県担当者会議において発表されました地区大会開催要項案にもとづいて、次に期日、会場、研究主題、分科会構成について述べます。

## 北海道地区研究大会—江別市

- 期日 9月6日(火)～7日(水)  
 会場 江別市民会館  
 研究主題 「地域性を生かし、生涯学習社会にふさわしいまちづくりを考える」  
 分科会の構成  
 第1分科会 社会体育  
 第2分科会 文化振興  
 第3分科会 成人・婦人教育  
 第4分科会 高齢者教育

## 東北地区研究大会—青森県

- 期日 9月8日(木)～9日(金)  
 会場 平内町勤労青少年ホーム  
 研究主題 「生涯学習社会の実現をめざした社会教育活動の推進と社会教育委員の果たすべき役割を考える」  
 分科会の構成  
 第1分科会 青少年教育  
 第2分科会 成人教育  
 第3分科会 高齢者教育

## 関東甲信越静地区研究大会—埼玉県

- 期日 7月26日(火)～27日(水)  
 会場 秩父宮記念市民会館(秩父市)  
 研究主題 「生涯教育の観点にたった社会教育の今日的課題と社会教育委員の役割」  
 分科会の構成  
 第1分科会 青少年教育  
 第2分科会 高齢者教育  
 第3分科会 家庭教育  
 第4分科会 生涯教育  
 第5分科会 成人教育

## 東海北陸地区研究大会—富山県

- 期日 8月29日(月)～30日(火)  
 会場 富山観光ホテル(富山市)  
 研究主題 「21世紀を展望し、創造性豊かで活力ある社会教育のあり方を考える」  
 分科会の構成  
 第1分科会 生涯教育  
 第2分科会 成人教育  
 第3分科会 青少年教育  
 第4分科会 家庭教育  
 第5分科会 人権教育  
 第6分科会 生涯スポーツ

## 近畿地区研究大会—兵庫県

- 期日 7月7日(木)～8日(金)  
 会場 西山記念会館(神戸市)  
 研究主題 「生涯教育の観点に立つた、社会教育の今日的課題と社会教育の役割について考える」  
 分科会の構成  
 第1分科会 青少年教育(家庭教育)  
 第2分科会 成人教育  
 第3分科会 同和教育  
 第4分科会 地域活動  
 第5分科会 条件整備

## 中国・四国地区研究大会—山口県

- 期日 6月2日(木)～3日(金)  
 会場 山口県教育会館(山口市)  
 研究主題 「生涯学習社会にふさわしい社会教育のあり方を考える」

## 九州地区研究大会—沖縄県

- 分科会の構成  
 第1分科会 青少年教育  
 第2分科会 成人教育  
 第3分科会 社会体育  
 第4分科会 同和教育
- 期日 10月5日(木)～6日(木)  
 会場 パシフィック ホテル沖縄  
 研究主題 「生涯学習社会の風土づくりと社会教育委員の役割」  
 分科会のテーマ  
 第1分科会 青少年の健全育成  
 第2分科会 住み良い地域社会の実現  
 第3分科会 教育諸条件の整備  
 第4分科会 人権尊重にねざした社会教育の推進  
 第5分科会 社会教育関係団体活動の活性化  
 第6分科会 社会教育委員連絡協議会活動の活発化

## 63年度指定都市社会教育委員連絡協議会開催のお知らせ

- 期日 5月12日(木) 10時～16時  
 会場 小倉法華クラブ(北九州市)  
 協議題等 (1)各都市より提出された協議題について (2)情報交換  
 参加者 各指定都市社会教育委員 2～3名  
 各指定都市社会教育主管課 1～2名  
 長等

大きな成果をあげて

全国・各地区研究大会終る

21世紀に向けての教育の在り方を審議してきた臨時教育審議会が、生涯学習の理念による教育体系の再編成を提言しました。社会教育関係者のこんご果たす役割と使命はますます重くなつてまいります。

これをうけまして、昭和62年度の全国ならびに各地区研究大会は、大きな成果をあげて終りました。

全国大会を開催しました滋賀県では、一、八〇〇名余の参加者がつどい、「生涯学習社会に対応する社会教育の在り方と社会教育委員の果たすべき役割を考える」という研究主題のもとに、10分科会に分れて活発な討議が行われました。

全国大会は62年10月28〜30日まで大津市民会館他9会場で開催されました。

◆大会第一日開会行事・シンポジウム  
主催者挨拶として、本会の会長天城勲氏、滋賀県社会教育委員連絡協議会長今井林三氏、滋賀県教育委員会教育長飯田志農夫氏がそれぞれ行いました。

ひきつづき表彰式典が行われました。永年社会教育委員として活躍し、その功績の顕著な65名が栄えある受章者として天城会長より表彰状と記念品とが贈られ、受賞者を代表して地元滋

賀県の川越真吉氏が謝辞を述べられました。

次に祝辞を、文部大臣代理大臣官房審議官福田昭昌氏、滋賀県知事稲葉稔氏が、また歓迎のことばを大津市長山田豊三郎氏がそれぞれ述べられました。

ひきつづき経過報告と大会日程説明がありまして、次のテーマ「生涯学習社会における家庭・学校・社会」により、シンポジウムが2時間にわたり極めて熱心に討議されました。

おわりに大津児童合唱団のすばらしい唄声で第一日の日程が終了しました。

◆大会第二日は分科会討議でした。  
午前9時30分より16時まで10分科会場において一斉に行われました。

◆大会第三日は記念講演と閉会行事  
講師は延暦寺山田恵諦天台座主により行われ参加者に大きな感動を与えました。ひきつづき大会宣言決議と次回開催県代表神奈川県社教連会長の間宮武氏の挨拶、大会実行副委員長長森寺保氏の閉会のことばで、滋賀大会3日間の幕がおりました。(なお大会を通じての詳細な内容は「第29回全国社会教育研究大会報告書」として発表されております。有料。問い合わせは本会へ。)

全国六会場において開催されました

地区大会も、各地区とも参加者が前年をうまわり、延参加者数は四、四五〇名となり一会場の平均参加者数七四〇名となりました。

☆北海道地区研究大会

期日 9月10日・11日

会場 十勝 音更町文化センター

参加者 500名

☆東北地区研究大会

期日 10月15日・16日

会場 福島市民会館

参加者 550名

☆関東甲信越静地区研究大会

期日 9月10日・11日

会場 熱海 後楽園ホテル

参加者 750名

☆東海・北陸地区研究大会

期日 10月8日・9日

会場 愛知県犬山市市民文化会館

参加者 850名

☆中国・四国地区研究大会

期日 6月11日・12日

会場 徳島県郷土文化会館

参加者 650名

☆九州ブロック研究大会

期日 9月7日・8日

会場 鹿児島県城山観光ホテル

参加者 1100名

民間社会教育活動等の

振興に関する要望

社団法人全国社会教育委員連合

会長 天城 勲

自民党 文教部会 殿

文教制度調査会

一、要旨

今日、国民の間には、生涯を通じて多様な学習活動を行いたいという要請がとみに高まっています。

臨時教育審議会は、四次にわたる答申において、生涯学習体系への移行を主軸とする、教育体系の再編成を提案しておりますが、生涯学習社会を実現するためには、社会教育の一層の振興を図ることが必要であります。

特に、民間の活力を活用した社会教育活動と社会教育活動の拠点となる社会教育施設の整備を図ることは、生涯学習体系への移行にとつて、是非とも必要なことであります。

何卒次の事項についての格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

二、要望事項

1、民間社会教育活動振興費補助金(民間社会教育関係団体に對する補助) 六億一千五百万円

2、公立社会教育施設(公民館、図書館、博物館等)の整備充実

七十八億九千五百万円

3、社会教育指導体制の整備(社会教育主事派遣事業等) 三十二億四千七百万円

## 〔第13回欧州社会教育視察団より〕 石の文化の国々を尋ねて

西村英彦

ポール・ラングランの国へ、ボンソ

ワール、ジャン・ジャック・ルソーの国を後に、ジュネーブからTGV(フランス新幹線)で4番目の訪問国フランスに入った。車窓から見たブルゴーニュ地方の沃野は良く耕されていて、収穫を終えたぶどう畑、ビート畑などが続く。車内食を楽しみ、それぞれのまちの社会教育事情や我家の家庭教育を交換し合っている内に、パリのリヨン駅に着いた。

次の日午前中訪れたパリ市立国際交流宿泊センターは、一九六三年開設されフランス政府、パリ市と市民が運営協議会を設けて経営している。経費は公費の外に社会保障資金と利用者が負担するものによって賄われている。

施設は、日本の公民館やコミュニティセンターのような学習や文化活動と体育施設の機能に、ユースホステルのような宿泊もできる学習施設の機能を兼ね備えており、文化やスポーツの団体の事務局にも部屋を提供していた。

午後は青年文化の家を視察した。この施設は公立民営、つまりパリ市が建設し、経営は市民も参加した運営協議会が委託を受けて運営している。経費は65%が市費で、外に寄付金、利用者

の負担で賄っている。

主として表現する芸術活動に使われおり芸術の都パリの社会教育施設らしいと感じた。舞台芸術の外映像芸術の制作も行われていた。幾つかある講座の中ではコンピュータ入門に力を入れていた。午前中視察した施設でも言っていたが、パリでは水曜日は学校が休みで、青少年の利用はかなり多いと言っていた。

公立民営の利点を、公営では実施しにくい柔軟な発想と機能的な経営を上げて自慢していた。又、アニメツールと呼ばれる専門職員が文化活動や学習

### ロンドンの思い出から

私の初めての欧州視察は、十一月十日五日夜明け前の空からみたオレンジ色に光り輝くロンドンから始まった。

東京発アンカレッジ經由北回りJAL四二便の高度が下るにつれ、街路灯であることがわかってきたが、直線や曲線の光の筋が交錯して、市街地一面に寶石を散りばめたような美しさでも言えようか。

渋い渋い銀のような色調で統一さ

活動のダイナミズムをつくっていると言ってくれた。

3日間のパリ滞在中、凱旋門、コンコルド広場、シャイヨー宮とエツフェル塔などを観、ルーブル美術館、エルセー美術館(元オルレアン鉄道の駅舎に昨年暮れ開館)世界的な芸術を鑑賞し、メトロでシャンゼリゼのリードへ本場のレビューを見に行ったり、クローネンブルグで本格的フランス料理を味わい、オペラ通りのブティックで一流ブランドのショッピングなど、パリの文化をたっぷり体験して、オボワール。

国際化時代の社会教育の課題をみやげに、ジュッセルドルフ、アンカレッジにトランジットして、木の文化の国へ帰って来た。

(横浜市教育委員会・社会教育主事)

### 三島俊夫

れているようなロンドンの街並みは、異国情緒も加って強烈に新鮮なものに映り、きちんと整い過ぎたものを嫌い、むしろ古いものと新しいものの雑居を認め、切りぬけて行くこうとするのがイギリス人の性格だとするならば、街並みそれをあらわしているような気がする。

歴史が語る産業革命、そして大英帝國としての繁栄の足跡は随所にあり、

驚くべきコレクションを誇る大英博物館、セントポール大聖堂の荘厳さ、国会議事堂とテムズ河の秩序ある景観、威圧を感じるようなバッキンガム宮殿、ウインザー城などが如実にそれら物語っていた。

ロンドンの地下鉄は世界で最初ということで有名である。その地下鉄に乗る時、エスカレーターの左側は急ぐ人のためであけておくという習慣にもびつくりし不思議な気がしたが、急ぐ人がやはりいるもので、「キューズミー」とか言いながら駆けていった。

また、ロンドン塔近くの広場でカメラのフラッシュにも驚かず餌をねだる人なつこい雀の集団には、日本では考えられないことであった。

次の日、ロンドンから抜け出し、ケンブリッジの近くにあるコンバートン・ビレッジ・カレッジに向かう。時速九〇キロ、一時間あまりの行程のハイウェイからの眺めはまことに広大で、ゆるやかな起伏のある緑の平野地帯で、牧畜や畑作が行われている。

訪問したカレッジは、田園風景に囲まれた学校で、小じんまりとした天井の低い簡素な校舎は、冷暖房の効率をよくするためだという。

成人教育の学校という先入観でやってきたのだが、十一歳から十六歳の児童とおとなの教育を行っているということで、中学校と公民館の合同施設のような錯覚をうける。(8頁へつづく)

北から南から

富山県社会教育委員連絡協議会の概要

富山県社会教育委員連絡協議会は、昭和四十五年に県及び県下三十五町村の社会教育委員で組織され、現在、四百十七名。一号委員七十名(十七%)、二号委員二百五名(四十九%)、三号委員百四十二名(三十四%)の会員数であり、うち、婦人の委員数は五十八名(十四%)である。

- 一、昭和六十二年活動目標
国際化、情報化、高齢化など急速な社会の変動に対処し、創造的で個性豊かな生きがいのある生活を営むため、生涯学習の基盤をつくり、地域の特性を生かした活力ある地域づくりを進めるため、次の事項に取り組む。
1 学習機会の拡充
2 学習施設の整備
3 社会教育指導者の養成
4 芸術・文化活動の振興
5 健康・スポーツプランの推進

- 6 青少年の社会参加と健全育成
地域ぐるみによる家庭教育の充実
7 高齢者教育の振興
8 公民館活動の活性化
9 国際化社会に対応した社会教育行政の充実
10 二、会議

二、会議

- 1 総会：...年一回開催、前年度の事業報告、決算報告、当年度の事業計画、予算案等の承認
2 理事会：...年一回開催、総会への提案事項等の審議、社会教育大会の計画案審議
三、主な事業
1 県社会教育大会：...社会教育功勞者表彰、体験文入賞者表彰、講演または、パネルフォーラム
2 全国大会、東海北陸ブロック大会への参加
3 各種大会等への情報提供

昭和三十二年度県社会教育大会は、十一月七日、約七百五十名参加のもとに、「温かい心に満ちたふるさとづくりを目指して」の大会テーマをかかげ地域における社会教育の振興について研究協議がなされた。
四、今後の課題
臨時教育審議会第三次答申で提起された「生涯学習体系への移行」を受けて、住民のニーズを的確に把握しながら、今後どのように取り組んでいくべきかが、大きな課題であろう。
(県社会教育委員連絡協議事務局担当・県社会教育課主幹 石崎栄一)

埼玉県社教連の現状と課題

埼玉県都市社会教育連絡協議会は昭和五十九年全国社会教育委員研究大会を浦和市で開催した。全国から社教委の多くの参加を得て大会史上且つてない盛会であり社会教育振興の為、生涯学習推進と社教委自らの向上に大きな役割を果たした。当時、実行委員

場所 埼玉県民健康センター、委嘱状交付より協議に入り
一、関東甲信越静社会教育委員研究大会予算書
二、関プロ大会日程、当日までの活動予定について
三、大会の趣旨研究主題、分科会テーマについて
四、次回委員会開催予定(三月十六日浦和市)

浦和市

趣旨 生涯学習社会に対応する社会教育の課題と社会教育委員の役割について研究協議する
研究主題(案)
生涯学習社会に対応する社会教育のあり方と社会教育委員の役割を考える。
分科会テーマ 第一分科会 家庭教育の振興と青少年を健かに育てる地域づくりのための社会教育委員の役割
第二分科会 婦人教育推進のための社会教育委員の役割
第三分科会 高齢者の生きがいを高めるための社会教育委員の役割
第四分科会 文化活動を推進するための社会教育委員の役割
第五分科会 生涯学習推進体制づくりへの社会教育委員の役割

秩父市は埼玉の西北部で最も自然に恵まれた地帯で荒川の源流地域である。住む人々は心豊かで定評がある。有形無形の文化財等多く秩父神社の龍、左甚五郎作、夜祭の山車等多彩な行事、古くは和銅に逆上り山河は武甲山、長瀨の石畳、急流舟下り美観勇壮である。また山狭には各種温泉と鉱泉もある。埼玉県連は昨年七月より大会準備研究に当り全社連との指導調整を受け乍ら会議を重ねて参りました。二月五日実行委員会発足の運びとなり、第一回委員会、期日 二月二十九日、

(埼玉県社教連副会長 新井朝則)

高知県社連の事業と課題

高知県社会教育委員連絡協議会は、昭和五十年八月二十九日に結成されたが、これに先だつこと昭和四十三年十月に高知市において第十回全国社会教育研究大会を開催して、社会教育委員の活動には大きな関心を示した。もつとも、県下五十三市町村に社会教育委員が設置され、名実ともに県社連として組織されたのは、昭和五十七年度からである。

一、昭和六十二年度の主な事業

(一) 会議

1、総会 (年一回開催、前年度の事業報告・決算報告及び監査報告、並びに承認、当年度の事業計画・収支予算の審議)

2、役員会 (年二回開催、総会提出の議案審議、当面する課題の検討)

(二) 主な事業

1、県社会教育委員連絡協議会研修会

2、地区別研修会 (県内五教育事務所管内)への助成

3、第十回中国・四国地区社会教育研究大会 (徳島市)への参加

4、第二十九回全国社会教育研究大会 (大津市)への参加

5、全社連発行「社教情報」の購入・配布

二、今後の課題

これからの社会教育は、生涯教育推進の視点からその振興を図る必要があり、県及び市町村における生涯教育推進体制づくりと、このことに社会教育委員がどうかかわっていくかが最大の課題である。

県においては、生涯教育推進会議において「高知県生涯教育長期基本構想」が二年間にわたって審議され、本年度末にその成果を得られることになっている。また、事業面では本年度から「市町村における生涯教育を総合的に推進するための組織づくりを奨励し、生涯にわたって主体的に学習することの重要性について考えるところにも、人々の学習に対する関心を高め、生涯学習を全県的に広めて心身ともにたくましく心豊かな人づくりを推進する」という趣旨のもとに「市町村生涯教育推進事業」を県下十市町村で単補助事業として実施しており、さらに国庫補充事業として昭和六十三年から導入される「生涯学習モデル市町村事業」等、これらの生涯教育推進の動きに、社会教育委員としてどう対応していくかが、本県における課題となる。

その他、地区別社教連の財政的基盤の確立や県段階における社会教育委員の表彰 (永年勤続、功労) についても検討する課題となっている。  
(県社会教育課指導第二班長 小松義徳)

沖縄県の活動状況

一、社会教育委員の設置

本県の場合、戦後二十七年にわたり米国の強力な統治下におかれ、布令教育法の適用をうけた。昭和三十三年、待望の民法による教育四法が制定されたが、その中に「社会教育委員の委嘱」の大切な条文が欠落し、実質的に社会教育委員が設置、始動したのは復帰以降である。昭和四十七年五月十五日、県社会教育委員が任命され、大方の市町村がそれにならった。しかしその数は53の市町村中41で、77%にすぎず、地区によっては設置率が50%に足りぬ所もあった。

二、県社会教育委員連絡協議会のとりくみの状況

昭和五十四年結成された協議会は次の二点に力点を指向した。

① 社会教育委員未設置市町村の解消へ

全市町村に委員を設置させることを重要な課題としてとりくみがなされたが、必置制にはなっていない法的な弱みもあって、町村の理解をうることは容易な業ではなかった。教育長の会合へ出向いての要請、主事協会との話し合い等によりその後、八町村が設置にふみきり、あと離島の四村を残すのみとなっている。現在会員数三六五名。

② 研修体制づくりへ

「折角委員に任命されたからには、自

信と勇気をもって職務の遂行にあたりたい。その為の研修を」との委員各位の切実な要望を無にせぬようその面の充実につとめている。

(1) 県として、

県教育庁との共催で、一泊二日、年一回実施している。初任者と経験者を分けることは、研修を深化する面で好評であった。一四〇名ほど参加。

(2) 地区として

六地区とも教育事務所との協力をえて年一回以上の研修会をもっている。特筆すべきは、北部と中部は地域性を同じくする面から合同の研修会をもつて切磋琢磨し合い、すでに七回を数えるにいたり、大きく成果をあげている。

(3) 市町村として

県の研修会に向けての事前研修が多いた。先進地の視察を兼ねた研修も数を増しつつある。

本土復帰して十六年、14世紀に及ぶ異民族支配のギャップを埋め、各県と伍して歩むのは並大抵の業ではなかった。しかし今や施設面はほぼ整いつつあり、これからは、ソフトの内容面の充実をとの声も高い。

幸い十月五日六日には、九州地区社会教育委員研究大会が那覇市において開催されます。本県社会教育の活性化の思召しをもって皆様のご来島を心から念じてやみません。

(沖縄県社会教育委員連絡協議会長 新城紀秀)

(5頁よりつづく)

五十年前に開設されたもので、生活文化センターとして地域と密着した活動が行われているもの。この日は図工室で婦人数名が水彩画の学習をしていたが、保育室も備えてあり行届いたものであった。

指導する先生の確保とか勤務条件等に問題はないか質したところ、熱意のある先生ばかりという返事で、これからの学校開放や生涯教育のあり方を示唆されたような気がした。

続くローマ、ジュネーブ、パリの十二日間の日程は、今まで映像や書籍などでしか知らなかった世界を現実のものにし、「見ることは信じること」の格言のように貴重な体験をすることが出来た。

日本に帰ってからロンドン地下鉄の火災ニュースで心配したことを知人から言われ、続いてモリーシャス沖などの航空機墜落、私の家から数キロの近くにある米子空港での事故と、つぎつぎに起る事故に驚き、このたびの視察が平穩無事であった幸せをつくづくと感じた次第。

このすばらしい思い出やふれあいを大切にして、異なるものへの理解や受け入れ、コミュニケーション能力の向上などにつとめ、国際化への対応をしたいと決意を新にしているところである。

(島根県安来市教育委員会教育長)

### 第14回ヨーロッパ社会教育視察団 参加者募集

本会は昭和50年度より毎年社会教育委員、社会教育行政職員、社会教育団体会員等のためにヨーロッパの社会教育事情の視察団を編成し、実施してまいりました。

63年度も第14回ヨーロッパ社会教育事情の視察を実施いたしますので、この趣旨にご賛同の方のご参加をおすすめいたします。

- 1. 目的** ヨーロッパ各地の社会教育施設を見学して、その活動状況を視察する。さらに各国の著名なる建造物、史跡等を巡り、歴史を学ぶ。
- 2. 期間** 昭和63年11月15日(火)～11月26日(土) (12日間)
- 3. 旅程** 東京→ロンドン(2泊)→ローマ(2泊)→フランクフルト(1泊)→ケルン(2泊)→パリ(2泊)→東京
- 4. 主要視察先**
  - ①ロンドン＝バッキンガム宮殿、国会議事堂、タワーブリッジ、トラファルガー広場、ロンドン中央成人教育協会、カムデン成人学校
  - ②ローマ＝フォロロマーノ、コロッセオ、共和国広場、バチカン市国、テレビの泉、日本大使館。
  - ③フランクフルト＝聖レオンハルト寺院、ゲーテの家、聖パウロ寺院、ゲーテ大学
  - ④ケルン＝大聖堂、市庁舎、セントマリア寺院(ケルン)国会議事堂、ペーターベンの生家、ボン市成人教育学校、ミカエルの家(ボン)
  - ⑤パリ＝ルーブル美術館、ノートルダム寺院、凱旋門、アマンディエ(青年文化)の家、国立成人職業訓練所
- 5. 経費** 585,000円(全朝食付、ベテラン添乗員が全行程御案内致します。)社会教育委員の方には、本会から20,000円の助成金があります。
- 6. 募集人員** 15名(定員になり次第締め切ります) 〆切 10月15日(土)
- 7. 応募方法** はがきで全国社会教育委員連合へお申込み願います。なお詳細なことを知りたい方はご連絡下さい。詳細資料をお送り致します。
- 8. 旅行業務** 旅行に関する一切の業務は近畿日本ツーリスト(株)虎の門海外旅行支店が担当します。
- 9. 連絡申込先** 〒100 東京都千代田区霞ヶ関3-2-3 国立教育会館内

(社)全国社会教育委員連合 TEL (03) 580-0608

### 事務局だより

▼63年度第一回総会 開催予告

日時 63年5月20日(金)

理事会 10時～12時

総会 13時30分～16時

会場 東京青山会館

詳細については後日文書でお知らせいたします。

▼県・指定都市の会長に就任

県、指定都市の社会教育委員連絡協議会会長に左の方々がそれぞれ就任をされました。(敬称略)

- 宮城県 近藤義忠
- 千葉県 宮崎達也
- 香川県 安原 昇
- 札幌市 三浦裕晶

▼機関誌「社教情報」よりお願い

全国の社会教育委員を対象とした機関誌「社教情報」(A5版58頁・頒価二〇〇円)が号を重ねることに好評で3月25日発行の第18号は一万五千部になりました。この数は全国の社教委員の二・五人に一人が読まれているということになります。

さらに紙面を充実するために、社教委員さんのご意見、お考え、ご希望等を広くとりいれてゆくことが必要となります。ついでには特集テーマの希望とか随想、文芸、実践活動、思考と提言等の原稿をぜひお願いします。

随想、実践活動は10枚以内、思考と提言は5枚以内。(四百字詰原稿用紙)